



ROTARY CLUB OF OMIYA WEST

2014～2015年度 大宮西ロータリークラブ週報

創 立：1963年3月22日	会 長 伊田雄二郎	第2411例会	2014/12/15
例会場：パレスホテル大宮	幹 事 新井 清太	発 行 日	2014/12/22
例会日：月曜日12:30～13:30	会報委員長 高橋真貴子	会報当番	風岡 洋

会長あいさつ

会長 伊田雄二郎

皆さん、こんにちは。
師走の気忙しさが感じる様になる時期ですが、皆様方におかれましてはご健勝の事とお慶び申し上げます。



昨日は、衆議院選挙の投票が行われ結果は報道の通りでした。どこの党が勝った負けたは置いとしまして、投票率の低さが気になりました。投票は、選挙権を持つ有権者の義務だと言う人もおります。ロータリアンの義務は第一に出席です。当クラブの出席率は、投票率よりは高いものの他クラブと比べると若干低めで推移しております。皆様の出席をお願いする次第です。

さて、本日は第2770地区ロータリー財団部門委員長の小林様に「ロータリー財団の基礎」と言う題目で卓話を頂きます。

本来であれば、11月10日の例会にて頂ける予定でしたが、南投クラブの来日より日延べしておりました。地区財団部門には、勝手な変更でご迷惑をお掛け致しました事お詫び申し上げます。

ロータリー財団に付きましては、寄付はしているけど何に使われているのかとか、そもそもロータリー財団って何？と言った疑問をお持ちの会員も居ると思います。今日は、小林部門委員長より分りやすい講義が聞けると思います。

小林委員長、どうぞよろしく申し上げます。

また、今晚道山閣さんで会員研修委員会の内山委員長による新入会員向けの研修とその後歓迎会が開かれます。そちらの方にも多くの会員の出席をお願いします。

お客様ご紹介

木本栄一 副会長

第2770地区ロータリー財団部門委員長 小林 操 様
青少年交換学生 Eduardo Sa Dos Santos
(エドアルド サ ドス サントス) 君

青少年交換学生

青少年交換学生

Eduardo Sa Dos Santos
(エドアルド サ ドス サントス) 君



幹事報告

幹事 新井清太



- ・第27回3750地区青少年研修訪韓団派遣学生の募集終了しました。今年度は埼玉栄高校からの学生派遣はありません。また訪日する韓国学生の受け入れもございません。
- ・来月、下期の会費納入をして頂く時期となりましたが、今回は指定の振込用紙がございませんので、必要な方は事務局までご連絡して下さい。
- ・関根由樹会員より退会届が提出され、持ち回り理事会において承認されました。

退会ご挨拶

関根由樹会員

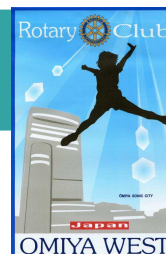


知恵と行動そして親睦

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 勝俣第2ビル 4F

TEL. 048-871-8881 FAX. 048-871-8882

E-mail: info@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/



委員長報告

親睦活動委員会 小木曾賢己 委員長



- ◆本日18:00～新会員研修会、19:00～新会員歓迎会について。
- ◆12/22(月)クリスマス夜間例会について。
- ◆1/7(水)新年初例会について。

シスタークラブ委員会 大楽 剛 委員長



- ◆南投扶輪社様のお土産を頂いてない方は、お帰りの際、お持ち帰り下さい。

内山年度新会員推薦会員・認証品贈呈及びP・H・Fマルチプル+1

新藤信夫会員(左)が表彰されました。



ゲスト卓話

第2770地区ロータリー 財団部門 委員長 小林 操 様 (越谷北ロータリークラブ)



ロータリー財団部門を担当する越谷北RCの小林操と申します。どうぞ宜しくお願いします。ロータリー財団はロータリーアンの寄付がプロジェクトの資金源泉になっています。人道的プログラム、財団奨学生、職業研修チーム(VTT)は、クラブの皆様の理解と協力により、本年も順調に、進んでいます。

人道的プログラムの内、地区補助金プロジェクトとして、地区69クラブに配分し、現在32クラブからプロジェクト終了の報告書が来ています。残り37クラブはプロジェクトが終了次第、報告書の提出をお願いします。

グローバル補助金プロジェクトは長期にわたる事業のため現在までの現状報告になります。現在進行

中が12件、申請中が17件(但し、約半数が手続不備)、この内、今年度になってからの申請は3件です。また、パイロット地区指定から5年目、既に終了したものが9件あります。

グローバル補助金プロジェクトは、海外のクラブと組み、企画実施しなければなりません。総額30,000\$以上のプロジェクトが組めますので、ただ、他のクラブのプロジェクトに乗るのではなく、しっかりした計画の下、打合せを重ね、クラブが一丸となり、実施できるプロジェクトをお願いするものです。

財団奨学生には、地区補助金を利用する短期留學生、グローバル補助金を利用する長期留學生の2種類あります。

いずれの奨学生もクラブが推薦クラブとなり、財団の申請手続きを行うこととなります。今年度は地区補助金による奨学生は、大宮東RCスポンサーの1名、グローバル補助金による奨学生は浦和RC、さいたま中央RCがスポンサーをしている2名で、既に現地に送り出しています。また、現在、既に2回オリエンテーションを重ねている4名の候補生、地区補助金利用者2名(さいたま中央RC成田七海、越谷南RC寺戸祐希)、グローバル補助金利用者2名(川口RC本田真理子、浦和北RC酒井美江)は、あと3回のオリエンテーションを終え、次年度早々に出発することとなります。今年度募集は、16-17年派遣奨学生で、若干募集要項が変わりますが、1月から募集を始めるので、多くの応募をお願いします。

職業研修チーム(VTT)は、今年度、スウェーデンのイエテボリで老人医療介護の研究等で医師、理学療法士、言語聴覚士、介護士の方を4名派遣する予定で、現在オリエンテーションを重ねています。

ロータリー平和フェローシップでは、前年度に引き続き、12期生のカンセラーを、大宮西RCにお願いし、また13期生を、浦和北東RCにお願いしています。

人道的プログラムの最も重要なものはポリオ・プラスです。

1988年125件約35万人であったポリオが、2014年には3件約300人、99%あと少しまで到達しました。パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの3カ国です。国際ロータリー、UNICEF WHO CDC ゲイツ財団の5つの組織は、共同して撲滅計画を進めています。

勿論、多くの寄付金が必要です。私たちロータリアンは一人一人が広げなくてはなりません。そこで多くの市民、多くの議員を巻き込むことが大切です。

今年度、積極的に広報部門、社会奉仕部門が広めているエコキャップ回収事業、目的の一つはポリオ・プラスの寄付です。ロータリーはリーダーになってください。そうすれば寄付も情報も広がり、2018年迄のエンドゲームを終えることができます。

ロータリー財団は寄付を集めなければ何もできません。今年度、地区寄付金目標額、年次寄付：200 \$、ポリオ・プラス：50 \$、恒久基金寄付：1000 \$を、各クラブにお願いしています。

また、ロータリーカードの加入もお願いしています。特にビジネスカードは、仕事で使う支出から自動的に寄付されますのは、素晴らしいことだと思います。

今年度の年次寄付金等は、3年後に補助金として帰って来ます。

すべてのクラブに、より多くの寄付を、ご理解、ご協力をお願いします。そして多くの補助金を利用して、恵まれない人々を助けてください。

最後に、世界で良いことをしましょう！！

ロータリー財団部門でした。有り難うございました。



会員通信

クラブ会報委員会
高橋真貴子 委員長

筑波駅長のご好意で、サントス君とその他10名で、駅長室を訪問させていただきました。サントス君の駅長姿もとても似合っていました。

また、鉄道博物館を貸切りに出来ると聞き、大宮駅とロータリーのコラボで、何かイベントが出来るのではないかと、筑波駅長からご提案を頂きました。実現できると素晴らしいなと思います。



大宮駅駅長の
筑波さんに
制服を着せて頂き
ニコニコ顔のエドアルド君